

令和7年度 第3回政策推進会議報告

日 時 5月20日 9時30分～11時00分

場 所 4-1会議室

出席者 17人

1 令和7年度重点課題事項の公表について

危機管理安全局長から順に資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(塚本副市長)

議会事務局の重点課題事項としての「議員が相談できるハラスメント外部相談窓口」はもちろんであるが、議員が職員に対するハラスメントがあった場合の対応についても取り組んでいてほしい。

また、収支均衡予算が数年続いているものの、20年以上にわたる行政改革の取組が身に付きすぎて、必要な予算要求ができていない、或いは課題が置き去りにになっている部分もあるように感じる。当然、最少の経費で最大の効果を出すという姿勢は変わらないが、課題となっていることについては、様々な場面を通じて議論の俎上に上げていただきたい。今までは財政状況を理由にしてきたことも、それが言い訳にならない状況になってきているので、その点については新たな発想で対応をお願いしたい。

(市長) 副市長が発言されたような姿勢で庁内調整を行っているものと思うが、市役所内部の調整の中で実施不可となってしまったものについても、アンテナをできるだけ高くして、これを放っておくと後々大変だと思えるものについては、副市長にも適宜相談をしながら、各局長級で上手に調整をしてほしい。

また、地方創生交付金などの国の補助金が上手く活用できていないと思うので、当初予算だけで勝負をするのではなく、補正予算も上手に活用しながら進めてほしい。

最後に、市役所内の職員のほか、市民の方々、議会との関係性も含めて納得性の高い政策プロセスを目指していきたいと思う。そのためにも、なぜその政策を実施するのかというデータ、エビデンスなどの考え方、市民の方々や議会への情報を出すタイミングなどが重要となるため、職員や関係者、市民の方々、議会、ともしっかり議論ができるようなプロセスしっかりと幹部の皆さんには考えてほしい。幹部職員の皆さんと一致団結して気を引き締めてやる必要があると思うので、よろしくをお願いしたい。

2 その他

以 上